

学校名		福岡市立福岡西陵高等学校		学校経営方針・学校教育方針		今年度の重点目標		評価 (総合)	
学校長	ふりがな	よねまる まさふみ		(1) 学習指導, 生徒指導, 進路指導を一体的に推進し, 自己実現と社会貢献の一致を目指す進路保障に努める。 (2) 礼節をわきまえ, 誠実で責任感と協調性をもち, 愛と勤労を尊ぶ精神を涵養する。 (3) 個性を生かし, 自主的自発的な精神で生活を営む態度を養う。 (4) 人としての生き方なり方を追究させることを通して人権尊重の意識を高め, 差別をなくす力を育てる。 (5) コミュニケーション能力を高め, 多種多様な情報を適切に収集・処理・発信できる能力を育てるとともに, 人として挨拶を基本に相互理解を進めるように指導する。		(1) 生徒の進路に対する目的意識をより明確にさせ, 進路実現を図る。 ①意識を育てる。 ②自分を知る。 ③広い視野を持たせる。 (2) 教育環境を整え, 教育資源の活用にも努める。 ①授業を行うにふさわしい教育環境の整備と授業規律の確立により, 生徒の学習環境を整える。 ②教師の自己評価や生徒授業評価を生かして授業の質を高める。 (3) システムとしての教育機能を高める。 ①出席改善指導及び風紀改善指導を行い, 信頼される指導を確立する。 ②組織の充実を図り, 教職員の共通理解の上に特別支援教育を推進する。 ③研修旅行, 姉妹校交流, 海外語学研修, 留学, 諸検定等により, 本校の特色にふさわしい国際理解教育を推進する。		学校自己評価 学校関係者評価	
	氏名	米丸 政文							
校長本校在籍年数		1年							
学校関係者 評価委員会 委員長	ふりがな	にしうら ただし							
	氏名	西 浦 忠							

昨年度の成果と課題 昨年度は, 教科指導, 進路指導, 生徒指導の充実と改善に取り組み, 進路実績の向上, 生活規律の向上, 特別支援教育に関する共通理解と支援協力体制などに一定の成果が見られた。昨年度の総合評価がC段階であることから, 今年度は各評価項目の課題解決に努めるとともに, 生徒の希望進路の実現を図るため, 授業規律の徹底, 目的意識の明確化, 授業の質の向上, 組織的指導体制の強化など教育機能を高める教育を推進する。

評価項目	目標及び具体的な方策等		学校自己評価	取組状況・成果・課題	学校関係者評価	学校関係者評価委員会からの意見等	今後に向けての方針・改善点
	目標	具体的方策					
教育課程・学習指導	基礎学力の定着と上級学校へ進学できる学力の伸長をめざすとともに, 新学習指導要領を踏まえた教育課程の編成を行う。	年2回の校内授業研究(教員相互の授業参観)を行い, 指導力の向上を図り, 授業改善につなぐ。 習熟度別学級編成や習熟度別授業の効果的な運用について研究するとともに, 授業時数の確保に努める。					
	学習環境を整え, 学校としての学ぶ雰囲気をさらに高めるとともに, 家庭学習の定着を目指す。	教室の清掃や整理整頓, チャイムと同時の授業開始など授業規律の確立を全職員で徹底する。 家庭学習の実態を把握し, 担任と教科担当が連携して, 自学自習の習慣の確立に向けた指導を行う。					
生徒指導	生徒の基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上を目指す。	全職員で出席改善指導及び風紀改善指導を継続し, 保護者と連携し, 指導対象生徒を各3名及び5名以下にする。 ホームルーム, 学年集会, 始業式, 終業式等において, 規律や礼儀を重んじる指導を徹底する。					
	部活動や生徒会活動など, 生徒の主体的な活動を推進する。	学校行事の企画運営や挨拶運動, 環境美化活動等を通して, 生徒会活動の活性化を図る。 部活動の加入率を高め, 部活動生徒をクラスや学年の模範生徒, リーダーとして育てる。					
進路指導	授業, 課外補習, 対外模擬試験等を通して生徒の学力の到達状況や伸長度を測り, 学習指導・進路指導に生かす。	学年部及び各教科で, 定期考査や模擬試験の対策や結果分析を詳細に行い, 次の指導に生かす。 生徒一人ひとりの学力の到達状況を把握し, 面談等を通して個別指導を充実させる。					
	生徒が主体的な進路選択ができるよう進路に対する目的意識をより明確化し, 進路実現を図る。	大学での体験講座の実施やオープンキャンパス等への積極的な参加を促し, 生徒の進路意識を高める。 英語検定や外部実施の模擬試験の受験督促のため, 受験案内や詳細情報を各部で連携して提供する。					
特別支援教育	特別支援教育に関する共通理解と推進及び支援体制の確立を図る。	特別支援学校との交流内容をさらに充実させるとともに, 校内外研修等へ積極的に参加するなど教職員の共通理解と意識の向上を図る。 教育相談委員会を中心に教育相談機能を強化し, 校内の推進及び支援体制を確立する。					
	障がいのある生徒や課題を抱えた生徒に対する理解と支援の充実を図る。	障がいのある生徒の支援を通して, 障がいに対する理解を深め, 支援会議で支援の改善を図る。 生徒の変化の早期発見に努め, 気になる生徒の支援を充実し, 不登校・中途退学者を減少させる。					
開かれた学校づくり	保護者・地域との連携協力を深める。	保護者会, 進路説明会, 体育祭, 学校公開週間等の学校行事への保護者や市民の参加者を増や 同窓会やPTAとの連携, 学級だよりの発行や三者面談等により保護者との連携協力を深める。					
	中学生等に向けた積極的な広報活動を行い, 本校の教育活動をアピールする。	中学校訪問, 体験入学, オープンスクール, 進路相談事業等において積極的な広報活動を行う。 学校ホームページの内容の充実を図るとともに, 月1回以上の更新をめざす。					

※ 学校自己評価は, 5段階評価(S…目標を大幅に上回る達成度, A…目標を上回る達成度, B…目標どおりの達成度, C…目標を下回る達成度, D…目標を大幅に下回る達成度)で成果や取り組み状況等について記入すること。  
 ※ 学校関係者評価は, 学校自己評価について5段階評価(S~D)で評価すること。